

平成 25 年 3 月 19 日 00110 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター

【柔道情報】全北海道柔道選手権大会で「極の形」を披露

3月10日(日)千歳市開基記念総合武道館にて行なわれた第35回全北海道柔道選手権大会の開会式において、「講道館 極の形」を北見柔道連盟の中澤 伸一 六段と中澤 正五段が披露しました。中澤兄弟は「形」の全国大会にも出場しており優秀な成績を収めています。

この大会には、北見柔道連盟から佐藤健太選手、西尾義裕選手、阿久津悟選手が出場しましたが初戦敗退となりました。大会結果は、男子(無差別)164名エントリーされるなか、北海道警察の遠藤剛選手(札幌)が優勝しました。女子(無差別)は40名のエントリーで、上野巴恵選手が優勝しました。(佐藤)



・中澤 正(受) ・中澤 伸一(取)



【事務局情報】

北見市教育委員会へ柔道着を寄付いたしました！

3月14日(木)午後2時30分に、NPO法人北見市武道振興協会(佐藤壽春代表理事)が柔道着上下に加え帯の合計28枚を北見市教育委員会へ寄附致しました。佐藤代表は中学校の武道必修化で授業協力者として市内の中学校へ赴いており、生徒の柔道着不足を解消する為、市内高校の柔道部監督に、不要となった柔道着の提供をお願いしていたところ、同日の午後1時に当事務局へ北見工業高等学校柔道部の前川監督より提供頂きました。



そのため、NPO法人の武道教育を支援する事業の一環として即日、北見市教育委員会に寄付する運びとなりました。佐藤代表は、「今後も中学校武道必修化の支援活動を行いたい」と話しました。(山本)

連載 宮本武蔵の「五輪書」十 くづれを知るといふ事 火之巻

崩れるということは、すべての物事にあるものである。家が崩れる、身が崩れる、敵が崩れる。みんなその時にあたって、拍子が違って崩れるのだ。多人数の兵法でも、敵の崩れる拍子を心得て、その瞬間を取り逃さないよう、追い立てるのが肝要なのである。崩れた瞬間を見逃しては、敵が立ち直ることもある。また一対一の兵法でも、戦っているうちに、敵の拍子が狂い、崩れることがある。その時、油断すれば、また立ち直り、新たな戦いとなるので、簡単には倒せない。崩れを突き、敵が立ち直らないように、しっかりと追い立てるのが肝要である。強い心で追い立て、敵が立ち直らぬよう、打ちはなすようにせよ。打ちはなすということは、よく理解しなければならない。打ちはなさなければ、くずくずしがちになる。これは工夫しなければならない。つづく